

都市再生整備計画 事後評価シート
神戸須磨地区

平成24年3月

兵庫県神戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

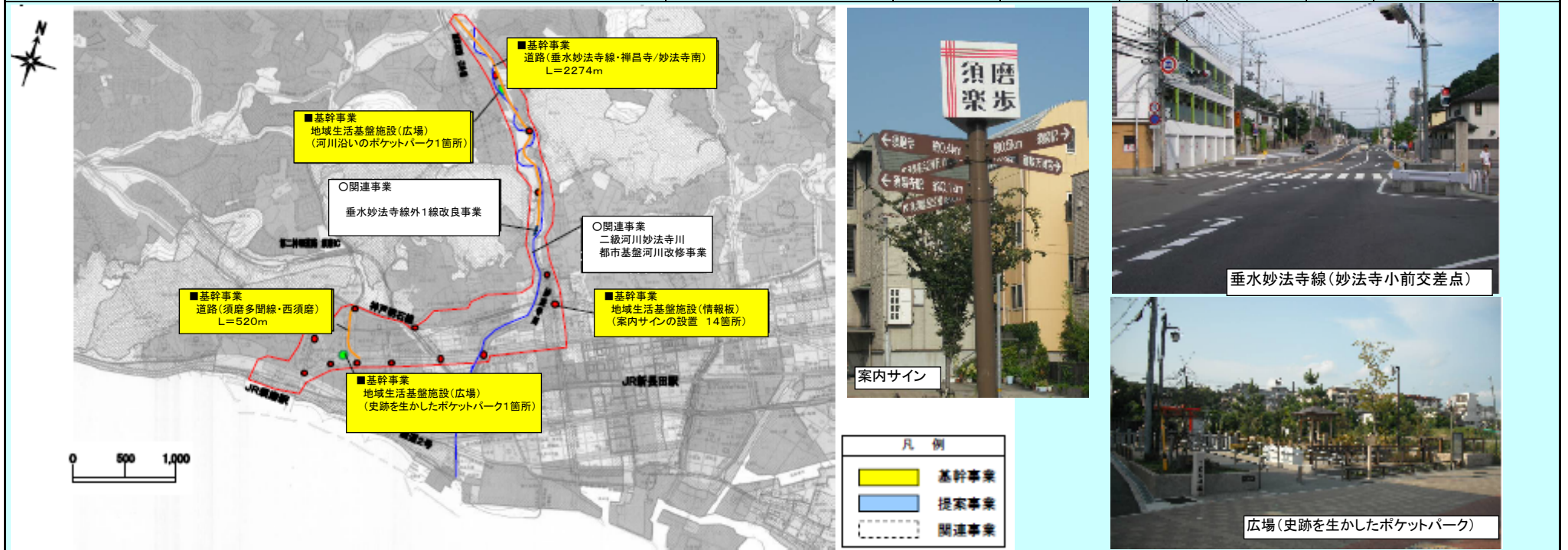
都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市		地区名	神戸須磨地区			面積	120ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	3471.5	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(須磨多間線)、道路(垂水妙法寺線)、地域生活基盤施設(情報板) 地域生活基盤施設(広場)			最終変更計画に位置づけて実施した事業内容	事業名 道路(須磨多間線) : 用地買収 道路(垂水妙法寺線) : (禅昌寺) 妙法寺小前交差点改良工事 L=100m、用地買収 (妙法寺南) 街路築造工事<バイパス> L=300m、用地買収 地域生活基盤施設(情報板) : 14箇所 地域生活基盤施設(広場) : 2ヶ所(600㎡)							
		提案事業	なし				事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし											
		提案事業	なし											
	新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	なし												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	妙法寺小前交差点渋滞長	m	800	H14	400	H23	—	200	○	あり	垂水妙法寺線の妙法寺小前交差点において、平成22年8月に右折レーン(北行き)を設置したため、渋滞長が減少した。		
	指標2	駅の乗降客数	人/年	※316,000	H16	※333,000	H23	—	528,400	×	なし	須磨多間線、垂水妙法寺線の整備にあわせて、周辺の住民や歩行者が憩える空間としてポケットパークを整備し、また、史跡への案内の充実を図るため案内サインを設置することにより、来訪者が増加し、山陽電鉄須磨寺駅の乗降客数も増加すると見込んでいた。 須磨多間線沿いのポケットパークは竣工し、案内サインの設置も平成23年度末に完了する予定である。 来訪者の増加を図るための事業は着実に実施されているが、須磨多間線や垂水妙法寺線の整備は交付期間内に完了しなかった。両事業は、今後も事業を進めていくが、未完成のために道路ネットワークが確立できず当該地域の住宅等の集積が図れなかったこと、また、ハイカーや市民などに対する史跡のPRが十分でなかったため、山陽電鉄須磨寺駅の乗降客数の目標値を達成することはできなかった。	平成25年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	史跡めぐり年間開催回数	回/年	0	H18				1			当該地域の史跡をめぐるまちあるきが区役所関連で年1回開催され、またその他に民間主催で多数実施されており、設置した案内サインやその位置などが掲載された観光ガイドマップ(現在までに23000部発行)を活用することにより、来訪者への案内充実を図っている。 また、整備されたポケットパークは、市民が立ち寄り談笑するなど地域住民の憩いの場となっており、広場の有効活用が図られている。	平成24年5月	
4) 定性的な効果発現状況	垂水妙法寺線の妙法寺小前交差点において、歩道及び右折レーンを設置したことにより、通学路などとして利用できる歩道が整備されたため児童など歩行者の安全が確保でき、また、交通事故防止に寄与している。 ポケットパークの整備並びに案内サインの設置により、歩行者の回遊性が向上し、市民や来訪者が歴史、自然、景観などの地域の魅力を感じる事ができるまち歩きルートづくりや健康ウォークなどの市民活動に寄与している。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	住民参加プロセス	平成18年度に地元自治会・婦人会・商店街、まちづくり協議会、史跡等の関係者等の参画によるワークショップを通して、道案内サインに表示する情報や表示方法、あるいは形状等について意見を出し合い検討した。そして、平成19年度から、その意見を反映させた計画に基づき案内サインを整備した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も協働と参画によるまちづくりを推進する。
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

※指標2の駅の乗降客数に誤記あり。正しい数値は、従前値316,000人/年→632,000人/年、目標値333,000人/年→666,000人/年

様式2-2 地区の概要

神戸須磨地区(兵庫県神戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
神戸の西部市街地と郊外のニュータウンを連絡する幹線道路ネットワーク整備による活力ある都市空間の創出と快適な沿道環境の整備	妙法寺小前交差点渋滞長	単位:m	800 H14	400 H23	200 H23
	駅の乗降客数	単位:人/年	※ 316000 H16	※ 333000 H23	528,400 H23
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化
垂水妙法寺線の妙法寺小前交差点付近で右折レーンの設置、歩道整備等を行ったため、渋滞長が減少し歩行者の安全が確保された。また、須磨多聞線沿いで史跡を生かしたポケットパークの整備により市民の憩いの場を創出し、さらに案内サインを設置することにより来訪者等への案内の充実を図るなど、地域の特性を活かした環境整備を進められ、一定の効果が得られた。しかし、西部市街地と郊外を連絡する道路の交通渋滞の抜本的な解消・緩和による住環境改善、歩道整備による歩行者の安全確保等を図る観点から、須磨多聞線(西須磨)並びに垂水妙法寺線の全区間の早期整備が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
・須磨多聞線(西須磨)、垂水妙法寺線及び垂水妙法寺線外1線改良事業の整備促進。
・妙法寺川と道路に囲まれた区域を河川景観と調和した河川沿いポケットパークとして整備し、ハイカーや市民などが立ち寄れる憩いの空間を創出する。
・菅原道真が立ち寄った際に植えたと伝えられる松などの史跡を復元し保存している須磨多聞線沿いポケットパークの地域と連携した適切な維持管理。
・観光協会と行政が連携を図り、観光ガイドマップなどにより地域の史跡等の魅力を発信する。

※指標2の駅の乗降客数に誤記あり。正しい数値は、従前値316,000人/年→632,000人/年、目標値333,000人/年→666,000人/年